

事前評価書

		年度	2
		整理番号	
事業名・路線名等		道路改築事業 大泊浜徳浦線(深江2工区)	
所在地		臼杵市大字坪江 ～ 大字深江	
事業概要	事業の目的	本事業は、延長L=0.45kmの区間を道路改良することにより、線形不良箇所及び幅員狭小箇所の解消を図るとともに、防災機能の向上を目的とする。	
	事業内容	【計画延長・幅員】 延長 L=450m 幅員 W=5.5(7.0)m 【道路区分】 第3種第4級 【設計速度】 V=30km/h 【計画交通量】 530台/日(令和12年度) 【現況幅員・交通量】 W=3.6~5.3m 交通量 535台/12h(平成27年度)	
	事業費	757百万円	
事業の実施計画	完成予定年	着手から10年(令和12年度)	
	事業段階毎の実施計画	1年目 測量、道路詳細設計、関係機関との協議 2年目 用地測量、公有水面埋立協議 3年目 道路工事 4年目 道路工事 5年目 道路工事 6年目 道路工事 7年目 道路工事 8年目 道路工事 9年目 道路工事 10年目 道路工事 完成	
事業の必要性	必要性・緊急性	・ 幅員狭小、線形不良による離合困難により、走行性、安全性が低い	
	整備効果	・ 防災機能の向上、半島集落の孤立化の防止 ・ 線形不良、幅員狭小の解消による走行性、安全性の向上 ・ 臼杵市中心部(病院等の公共施設)へのアクセス強化	
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	・ 通行困難区間の解消(一次改築)の為、防災面・交通安全の観点から評価 【参考】 B/C = 0.4	
	工法の妥当性	・ 道路法、道路構造令等に適合した工法を採用 ・ 複数案のルート比較を行い、最も経済的なルートを選定	
	コスト縮減	・ アスファルト・砕石は再生材を利用 ・ 建設発生土を盛土材に利用	
	環境等への配慮	・ 現道を活用し、土地の改変を最小限に抑制 ・ 他事業の建設発生土を盛土材として利用する ・ 豊後水道県立自然公園内であるため、実施にあたって関係機関との調整を図る	
事業実施環境	事業の実効性	・ 臼杵市から要望書が毎年提出されている ・ 地元自治会からは要望は強く、地元の協力体制は整っている	
	事業の成立性	・ 「安全・活力・発展プラン2015」、「おおいた土木未来プラン2015」、大分県長期道路整備計画「おおいたの道構想2015」に基づき事業を実施 ・ 道路法第15条に基づき事業を実施 ・ 社会資本整備総合交付金交付要綱に規定された事業内容、採択基準の要件に適合	
	事業の特殊性	・ 並行した道路が無い為、施工中の交通規制などに配慮した施工計画を立案	
対応方針		・ 以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい	

事業箇所位置図

